

7  
月  
号

# 版からかわる芸芸はらみ公中



## 親子科学工作(連射型木製輪ゴム銃を作ろう)を開催しました。



広島商船高等専門学校の先生方と、学生の皆さんが協力してくださり、年に3～4回開催しています。

子ども達は、この科学工作に目を輝かしながら、制作に一生懸命チャレンジしています。

深い知識の習得と物作りの楽しさに、興味津々で望む子ども達は、将来が楽しみです。



(ゲームをして楽しみました。)

電気制御で出来ている的にあてると電気がつく仕組みになっています。電気が多くついた方が勝利です。



## 体験講座紹介

## 新しい風・生涯学習

### ベビーマッサージ (0～5ヶ月まで)

日程 7月11日(木)  
場所 和室(3F)  
時間 10:00～11:00  
定員 親子15組  
参加費 300円  
締切り 7月8日(月)

### ベビーマッサージ (6～11ヶ月まで)

日程 7月12日(金)  
場所 和室(3F)  
時間 10:00～11:00  
定員 親子15組  
参加費 300円  
締切り 7月8日(月)

### 10分で楽々浴衣美人 (はんはば帯のアレンジ)

日程 7月17日(水)  
場所 和室(3F)  
時間 13:30～15:30  
定員 大人 12人  
参加費 100円  
締切り 7月12日(金)

### 秘伝のタレを使った 夏料理

日程 7月18日(木)  
場所 調理室(3F)  
時間 10:00～13:00  
定員 大人 24人  
参加費 1,500円  
締切り 7月12日(金)

### 初めてのアート書道 遊び心あふれる筆文字

日程 7月19日(金)  
場所 資料室(2F)  
時間 10:00～12:00  
定員 大人 15人  
参加費 500円  
締切り 7月17日(水)

### 親子で作ろう紙ねんど細工 (僕の私のティッシュボックス)

全2回講座  
日程 1回目 7月25日(木)  
2回目 8月 1日(木)  
場所 美術工芸室(3F)  
時間 9:30～11:30  
定員 親子 15組  
参加費 800円  
締切り 7月17日(水)

## 展示ケース一新しました。

### お菓子作り入門



### 陶芸



### アート書道



7月19日に体験講座で行います。  
ぜひ ご参加をお待ちしています。



## 8月の体験講座紹介

お楽しみに！！

- ①おいしく食べてカロリー控えめ料理
- ②親子で作ろう紙ねんど細工(僕の私のティッシュボックス)
- ③親子でクッキング(チョコチップスコーンとピーチゼリー)
- ④親子科学工作(マイロボットを作ろう)



三原市中央公民館  
三原市円一町2丁目3番1号  
講座の申込先 中央公民館生涯学習課  
TEL 0848-64-2137



# 新連載企画

「海・山・空」夢ひらくまち

## みはら地名由来学

新倉町「しんくらちよう」

### 備後と安芸の国境地点

#### 米の集荷地で米蔵があった！

新倉の木浜は、沼田川水系の交通の拠点であり広島藩が浦辺御蔵所を設け、米の集荷点であり米蔵があったことから新倉と呼ぶようになったと思われます。浦辺御蔵所は、尾道・三原・木浜（後に忠海）竹原・三津に置かれていました。新倉団地の入口部分にある石柱が備後と安芸の国境でありました。久井町、大和町にも備後と安芸の国境がありました。古志山（現在、県立広島大学地）の南端に牛神社として知られている大須賀神社があります。天文十六（1547）年に沼田地方で牛の疫病がはやっただため、小坂・荻路・沼田の3か村が牛馬の安全祈願を願い幟と踊り（ちんこんかん毎年八月十六日）を奉納する神事が始まったと言われています。



8月16日大須賀神社から出発



沼田町「ぬたちよう」

### 沼田下村から沼田町に！

#### 井屋峠「いやんだお・いやのたお・やんだお？」

沼田下の地名は沼田荘の東側に位置するところから称されたと考えられます。沼田町ちんこんかん踊りは、県無形民俗文化財にも指定され毎年八月十六日には大須賀神社の例祭日に奉納される踊りが引き継がれています。西野町から通じている県道三原本郷線の井屋峠を越し、ゴルフ場内を経て小坂に通じる道が山陽道でした。

昭和二十八年（1953）の月合併により沼田下村から沼田町になりました。別所には二位神社があり、境内のムクノキは市天然記念物に指定されています。

峠を越すと、西野町



二位神社のムクノキ



長谷町「ながたにちよう」

### 小坂・荻路・沼田下合併し長谷村へ！

旧長谷村は、小坂・荻路・沼田下の3か村によって構成された村で、各村とも長い谷間がありますので長谷？荻路には山陽道が通じ中学校や役場もあり荻路は市として発展しました。

沼田川とJR・国道2号が隙間なく通っている区間は今は珍しくなりました。水田地帯の小山が鶴山で遺跡と城郭の曲輪（くるわ）が残っています。また、七宝には亀山があり、南北に鶴亀の山があるのも、人々の長寿を願ってから？近くのお堂には、市重要文化財の木造弁財天坐像があり衣食住や財宝を与える女神で、琵琶を弾いています。七福神の一つとなって、弁天さんと呼ばれています。

平安中期ごろは沼田・小坂・荻路は沼田郷に属していた。



小坂町「おさかちよう」

### 小さい坂があるから！

#### こさか でなく、おさか！

小坂は古くは尾坂とも書かれていました。小坂は古い歴史のある町で縄文時代から古墳時代へと、さらに平安初期ごろの仏像群のある善根寺収蔵庫、稲村山城跡には中世においてこの地方の田坂氏の拠城。水無田（みないだ）現・皆井田地域には多くの小さな池を一つにしたと徳池（めぐみいけ）の池畔には頌徳碑があります。



徳池



小坂の坂道

高坂町「たかさかちよう」

### 標高350メートル

#### 高い山、急な坂道から地名！

旧高坂は真良・別迫さらには土取を含めた山陽自動車道の一歩高い標識がある付近から新幹線の場所まで南北に長い大きな村でした。沼田川の支流である仏通寺川の谷で久井町と高坂町に分かれました。昭和三十一年（1956）の合併により豊田郡高坂村から三原市高坂町になりました。高坂は仏通寺、ブドウ、春のぼたん、ルピナス園などで人々に親しまれています。

これからの季節



仏通寺？  
佛通寺？



「三原をもっと知ろう」ということで三原の歴史、地形や人々の暮らしなどから「地名」が付けられていることを、広島民俗学会理事 樺 博自先生の「みはらみである記」―町名考&ふるさと歴史散歩―と歴史民俗資料館の資料を参考文献にさせていただきました。

写真は、三原市ホームページの歴史民俗資料館より。

皆さんのご意見をお聞かせください。地名には、自然環境・地形から命名されたものや当時の荘園の私有地の人名、最近では瑞祥地名（めでたい地名）や公募の地名等も見受けられます。